

平成29年度大子町行政評価結果の総合評価

大子町事務事業評価委員長 和田 宗介

1 総合評価

- (1) 平成29年度の評価対象事業は、大子町まち・ひと・しごと創生総合戦略（平成28年3月策定）の3つの視点（しごとづくり・ひとづくり・まちづくり）の中から「ひとづくり」を選定し、子育て支援等の事務事業の中から、21事業を選定して行った。
- (2) 評価対象事業について、担当課の一次評価をもとに関係課が一堂に会してヒアリングを行うとともに、利用者（子育て世帯）からもヒアリングを行い、事務事業評価委員会で最終評価を行った。
- (3) 評価結果は、「ひとづくり」という視点で評価したことで、全体を俯瞰した上で個別事業を評価できた。「見直し」（改善）とした事業は3事業となり、行政評価の目的の一つである行政コストの効率化・縮減につながる評価が少なかった一方で、利用者の声を踏まえた結果、「見直し」（拡充）とした事業は4事業となった。
- (4) 各課横断的な分野は、共通のゴール達成に向かって、関係課の施策が総合的かつ有機的に連携し実施していくことが重要である。そのためには、今後も、関係課が一堂に会し、議論を重ねていく必要がある。
- (5) 施策の立案・実行においては、町全体としての将来的な行財政負担を念頭に考える必要がある。また、施策の目的を再確認し、利用者の視点に立った上で、目標達成のために効果的かつ効率的な実施・運用方法（最小のコストで最大限の効果）を常に模索し、改善を図っていく（他事業・他課との連携を含む）必要がある。
- (6) 制度周知が十分でない事業もあり、従来の周知方法を継続するのではなく、常に見直し・改善を図る必要がある。

2 評価結果

	一次評価（担当課）	二次評価（最終評価）
1 継続（現行どおり）	19事業	14事業
2 見直し（拡充）	1事業	4事業
3 見直し（縮小）		
4 見直し（改善）	1事業	3事業
5 他事業と統合		
6 休止又は廃止		
合計	21事業	21事業